

# あわゆず ふれず

第35号 2019年4月27日発行

伝えよう日本語を  
広げよう徳島から



J T M と く し ま  
日 本 語 ネットワーク

## これからをともに

～ 思いを伝える・受け止める ～

「徳島で農業がしたい」

2019年2月23日、JTMとくしま定例会「これからを語ろう～私たちにできること～」と題して開催した座談会で、バングラデシュ出身のエムディグラム・カウサル・チョウドリさんが、就農への思いを発表した。

地主の家に生まれたチョウドリさんは、日本で暮らす兄を頼り2001年来日した。東京で日本語を勉強し、その後、日本人女性と結婚、一児をもうけたのち埼玉に移った。転居先の田畑の広がる風景に、実家に戻ったような懐かしさを感じ、日本の農業を学びたいという思いが芽生えた。近所に農作物の栽培を指導してくれる農園があり、そこで1年間、野菜の栽培を勉強した。近隣には休耕地がたくさんあった。地主に貸してもらえないか尋ねたが、「ちょっと貸せない」と断られた。

当時、車の部品工場で働いていたが、ある時、埼玉県農業大学校で野菜栽培の職業訓練があることを知った。入校し、土づくりから施肥、収穫、パッキング、マーケティングまで幅広く学んだ。訓練終了後、農地を貸してくれる人を探したが、やはり貸してくれる人はどこにもいなかった。

3人の子どもの親となっていたチョウドリさんは、農業で生計を立てるため帰国の道を選んだ。2010年のことだった。「半年間、妻もがんばってくれたけど、それ以上は難しかった」とチョウドリさんは当時を振り返った。母国での就農生活に区切りをつけ再び日本に戻った。

再来日後、縁あって徳島に移り住んだのは2013年だった。手に職をつけるために住宅リフォームの職業訓練を受けた。修了後、東京に就職先が見つかり、単身赴任した。家族もいっしょにと考えたが、「徳島は食べ物もおいしいし自然も豊か、人もやさしいし子育てもしやすい」という妻のひと言が大きかった。

東京での仕事は1年続けたが、家族と離れては暮らしがたく、徳島に戻り病院の配食サービスの仕事に就いた。

2018年9月から外国人のための自動車運転免許取得支援講座が開講されることを知った。子育てや仕事に生かすために受講を決め、仕事のシフトを調整しながら完走した。講座が終了したとき、JTMの座談会で思いを発表してみないかと声をかけられた。胸の奥にしまっていた「農業への思い」を伝えたいという気持ちがわき上がった。

発表後のグループ討議では、経済団体や県職員、農業経営者など、専門分野の方々がテーブルを囲んだ。「空いている土地の情報を集めては?」、「JAなら農機具を安く貸してくれる」、「県では農業の担い手をサポートする『かんきつアカデミー』の制度がある」など、いろいろな助言や提案があったことが報告された。グループのなかに土地を貸そうと申し出た人がいたことが伝えられると、会場から拍手と歓声があふきおこった。

チョウドリさんは、後日、グループ討議で同席した方々と吉野川市の県東部農林水産局農業支援センターを訪ね、レモン栽培をするための助言を受けた。翌週には借り受けることになった農地の整地を始めた。

「徳島で農業をしたい」というチョウドリさんの夢は、「思い」を受け止めた人たちとともに、実現に向けて動き出した。念願の自動車運転免許取得に向けても準備を進めている。

2019年4月、改正入管法が施行され、介護や建設、農業など人手不足が深刻な14業種において、担い手となる外国人の受け入れがスタートした。今後、日本に定住化していくであろう外国人の人たちの「思い」を知り、受け止め、どう、これからをともにしていくか、たくさんのつながりのなかでチョウドリさんの「思い」に向き合ったことで、大切なひとつの答えを見出したと感じている。(JTMとくしま日本語ネットワーク会長 兼松 文子)

2018年度JTMとくしま日本語ネットワーク第1回定例会

## 座談会「これからを語ろう！ ～私たちにできること～」

日時 2019年2月23日(土) 13:30～16:00  
場所 公益財団法人 徳島県国際交流協会 大会議室



今回の定例会は、地域に住む外国人の皆さんに、「これからを語ろう！～私たちにできること～」をテーマに、今の想いや今後の課題を語っていただき、私たちにできることについて考える機会にしたいという思いから、開催しました。

座談会は、まずパネラーの意見発表、次にアドバイザーの意見、グループ討議・発表、最後に全体での質疑応答の順に進められました。

### 1 パネラーの意見発表

(1) エマ・パーソンズさん (イギリス) 「飯尾川をきれいに」

自然環境を守ることに興味を持っている。次世代の子供たちに豊かな自然を残したい。飯尾川(石井町)が大変汚れている。一人でゴミ拾いなどしているが、活動を地域に広げていきたいが、どうすればいいのだろうか。また、川沿いにサイクリング道路などを整備してもらい、人々が川に親しめるようにしたい。



(2) 島本 レーナさん (ドイツ) 「新町商店街に活気を取り戻したい」

新町商店街は、市の中心部にあるのに、シャッター街になっている。活気がなく、治安も悪くならないかと心配している。活気を取り戻すひとつの方法として楽しいイベントをしたい。一緒に活動できる仲間作りをしたい。



(3) 匹田 キーシャローヌさん (フィリピン)

「外国にルーツを持つ子どもたちの拠点づくり」

外国にルーツを持つ子どもたちが悩みや問題を共有しあえる場となる拠点づくりのための場所、運営費、規約などどうしたらいいだろうか。



(4) エムディグラム カウサル チョウドリさん (バングラデシュ)

「徳島で農業がしたい」

徳島で農業をしたいと思っているが、前に住んでいた埼玉では土地を借りるのが難しかった。徳島で農業を始めるにはどうすればいいだろうか。農業で生計を立て、子どもに受け継がせたいと思っている。



(5) 多田 夏子さん (中国) 「毎日学べる夜の日本語教室」

来日して16年になる。いろいろ苦労してきたが、言葉が一番大きな壁だった。日本語が上達するにつれ人間関係、日常生活もうまくいくようになった。昼間働いている人のために夜学べる日本語教室があればいいと思う。日本と中国の懸け橋になれるように日本語力をもっとつけたい。



### 2 アドバイザー、参加者の意見を踏まえてのグループ討議の内容について

(1) エマ・パーソンズさん (イギリス) のグループ

アドバイザー 中村 英雄氏 (特定非営利活動法人新町川を守る会 会長)

アドバイザーから、自分一人でもやるという気持ちがあれば、仲間が増える、それと遊びも取り入れることが大切だとの助言があった。エマさんは、今後も清掃活動を続け、楽しい自然観察(野鳥、魚)を取り入れた活動を行いたいと笑顔で話した。

(2) 島本 レーナさん (ドイツ) のグループ

アドバイザー 元木 秀章氏 (徳島経済研究所 首席研究員)

新町商店街を含め徳島を元気にするには、そこに住む人々がまず、町を知って好きになることだ。アドバイザーから、イベントなどを企画し商店街の組合に提案していけばいいのではないかと助言があり、

組合への橋渡しをしてくれることになった。

(3) 匹田 キーシャロレーヌさん (フィリピン) のグループ

アドバイザー 内藤 克明氏 (認定特定非営利活動法人とくしま県民活動プラザ 次長)  
藤中 智美氏 (県教育委員会学校教育課グローバル人材育成担当 室長)

匹田さんは、友人のワイス莉愛さんと共に拠点づくりを既に具体化している。若い人の積極的な姿勢を評価したいとの意見があった。アドバイザーから、外国籍の子供は、徳島市だけでなく周辺にも散在している。行政として何ができるか考えていきたいとの話があった。また規約作成のサポートをしてくれる所やイベント等、無料で利用できる施設についての助言もあった。

(4) エムディグラム カウサル チョウドリさん (バングラデシュ) のグループ

アドバイザー 梶浦 艶氏 (梶浦農園株式会社 取締役)  
佐々木雅信氏 (徳島県中小企業家同友会 事務局長)

アドバイザーから、徳島でも外国人が遊休農地を借りようとする、後々のトラブルを恐れて貸さない人が多いとの話があった。また、各市町村が各々耕作可能な河川敷の情報を持っているので、問い合わせてみたらどうかとの助言もあった。徳島には多くの遊休農地があるので、それらの情報を収集し、掲載するサイトを作ったらどうかという意見も出た。幸運にもグループ内に土地を貸してくれる人がいて、土地を見に行く約束を取り付けることができた。

(5) 多田 夏子さん (中国) のグループ

アドバイザー 村上耕太郎氏 (県教育委員会学校教育課義務教育担当 指導主事)  
安田 享氏 (公益財団法人徳島県国際交流協会 常務理事兼事務局長)  
野水 祥子氏 (公益財団法人徳島県国際交流協会 国際交流・協力シニアコーディネーター)

アドバイザーから、毎日学べる夜の日本語教室については、一人で声を上げて効果は薄いので、5人くらい集まって町などに訴えていくのがいいとの助言があった。また、夜間中学ができ、そこでは外国人も対象になるとのうれしい話があった。

## 定例会について感じたこと

外国出身のパネラーの方々がふだん考えているいろいろな思い、悩み、是非とも今後実現したい夢など、日本語で話してくれました。かなり流暢に意見を述べる人、たどたどしいながらも一生懸命話してくれる人など、こんなにも熱い思いを持って生活しているのかと心を打たれました。

パネラーの発言内容は、多岐にわたりましたが、日本人として気づかなかったり、自分の問題として考えることがなかつたり、反省させられることもありました。また、アドバイザーの方々の心からのアドバイスにも感動しました。

パネラーの方々の生活の場として、職場、学校、地域などがありますが、生活する際の課題は、日本人にも共通するものです。しかし、どうしても言葉の壁があり、弱い立場に立たされがちです。外国人の抱える課題を解決する一手段として、日本語能力の向上に資するJTMの活動の意義を再確認できたと思います。話し合いの中で出てきた生活者としての課題は、すぐには解決できないものですが、課題を抱えている人に寄り添い、ともに生きていくという共生社会の実現に向けての一步となったのではないかと思います。(富士原 卓弘)



## アンケートより

- 外国にルーツを持つ人達が、日本を愛し、これからどうしていきたいかの思いを持って生活していることに感動した。
- 日本人の想像とは違った重い悩み、課題を持っていることがわかった。
- パネラーの発表、それに対するアドバイザーの方々の心からのアドバイスに感動しました。
- 何か新しい活動を始めたい。いろいろな意見に触発されました。自ら出来ることはなんでもしたい。
- 高校生が自ら動き、新しいことに挑戦していることが印象に残った。
- 日本語を教えることを通して外国人の心に触れ寄り添うことがより大切だと思った。
- 日本語を学びたい方たちの熱い思いに触れることができ、日本語教育に関わっていきたいという思いを持った。

## 2018年度に行われた日本語講座

### ●「日本語能力試験N3対策講座」(公益社団法人 徳島県労働者福祉協議会主催)

日時：2018年10月2日～11月30日

(火曜日、金曜日 9：30～12：30)

場所：わーくぴあ徳島2階

2018年12月2日に実施の日本語能力試験N3の合格を目指し、徳島県労働者福祉協議会主催で試験の対策講座が開講されました。

受講生は中国3名、フィリピン1名、ウクライナ2名、アメリカ1名、ベトナム1名です。試験まであと2か月に迫った開講でしたが、初日に行った模擬テスト結果からもかなり厳しい船出となりました。しかし、毎回、大量の宿題をこなし、語彙、文型などを覚え、確認テストを繰り返すことによって、最終日の模擬テストでは、多くの人が初回のテストより20点から30点アップすることができました。受講生の中の5名が受験し、2名が合格しました。「やればできる！」と実感できた2か月だったのではないのでしょうか。

(加村 匡子)



### ●「日本語能力試験N2対策講座」(公益社団法人 徳島県労働者福祉協議会主催)

日時：2018年9月10日～11月28日

(月曜日、水曜日 9：30～12：30)

場所：ヒューマンわーくぴあ徳島3階／わーくぴあ徳島2階

日本語能力試験を受験し、資格取得することで履歴書に日本語能力を明記することができ、仕事を探すうえでも選択肢が広がるようになります。そのため、要望が多かった「日本語能力試験N2対策講座」が開催されることになりました。

申し込み時には14名ありましたが、仕事の都合などで実際の参加人数は6～8名でした。毎回質問も多く学習者はとても熱心に参加していました。最終日に行った本番同様の試験の結果は、講座初日に行ったテストの点数を大きく上回っていました。発表後、受験した3名全員から合格したとうれしい連絡がありました。

(玉置 房)



### ●自動車運転免許のための「読解力を高める日本語講座」

(公益社団法人 徳島県労働者福祉協議会主催)

日時：2018年9月6日～12月13日

(木曜日 10：00～12：00)

場所：わーくぴあ徳島2階

「自動車運転免許取得支援講座」を受講するための「読解力を高める日本語講座」をJTMが担当しました。日本の交通ルールを学び、運転免許を取って、仕事や子育てに役立てようと徳島在住のバングラデシュ、中国、フィリピンの人たちが参加しました。

自動車学校の教本を中心にパワーポイントでイラストを示しながら語彙や試験問題の文末表現を学習しました。

(玉置 房)



### ●「保護者のための日本語講座」(JTMとくしま日本語ネットワーク主催)

日時：2018年9月3日～12月7日

(月曜日、金曜日 10：00～11：30)

場所：ふれあい健康館 第3会議室

この講座は、子どもを預かってほしいという要望に応え、託児サービスの態勢を整え、徳島県福祉基金助成金を得て、2年ぶりに開かれました。人数は少なかったものの毎回熱心に取り組み、特に新しい漢字を学ぶことに意欲的でした。毎回のテストも家庭でしっかり学習してきて、回を追うごとに目に見えて向上していきま

した。今までは、学校への連絡は家族がしていたのを、自分で出来るようになったとの喜びの声を聞いたときには、この講座を開催してよかったと思いました。

(長町 順子)



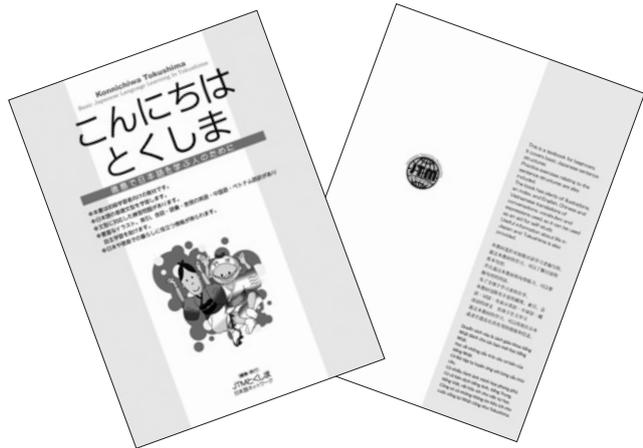
## 『こんにちは とくしま』第4版を発行しました！

徳島で暮らす外国人のために作成した初級日本語教材『こんにちは とくしま』の第4版を11年ぶりに発行しました。

現在、徳島県内には5,639人（法務省在留外国人統計2017年12月末）の外国人が生活しています。2002年の第3版を発行した時と現在を比べると、中国人の割合が55%から35%と減少しています。その反面、166人だったベトナム人は現在、1,233人になり、2002年の7.5倍の方が暮らしています。

そのため、今回は時流に合わなくなった例文、語彙、イラストを見直し、英語・中国語に加え、ベトナム語訳を追加しました。

本書は阿波弁や徳島でのごみの出し方など徳島に関する語彙、情報を多く掲載しています。基本文型を学習しながら徳島のことが学べる日本語教材として活用していただきたいと思います。（玉置 房）



## 第2回定例会「ポットラックパーティー」（徳島中央ロータリークラブ協賛）

好天に恵まれた3月24日（日）、恒例の「お国自慢とポットラックパーティー」を開催しました。参加者はいつもより少なめでしたが、兼松会長は「一人一人の思いを知る好機となるよう、この人数となったのでしょう。」と挨拶しました。持ち寄ったお料理は、どこの国の方にも喜んでいただけるよう、見た目も良く味もとびきり！間て呈茶のサービスもあり、今年はお茶を点てる体験もすることができました。和気あいあいとした雰囲気、今年ならではのポットラックパーティーになりました。（中野佳代子）



お国はどちらですか？



自分でお茶を点てました



初めての着物姿、きれいでしょ！



阿波踊りを楽しみました



# 2018年度 写真で綴る

日本語サロン



日本語指導勉強会



日本語指導部  
研修会



ステップアップ  
講習会



徳島県委託 夏休み  
子ども日本語教室



にほんご寺子屋



にほんご寺子屋  
(野外活動)



春休みにほんご寺子屋  
(職場体験)



# JTMの活動 この一年

## ● 第1回 定例会「座談会」 ●



## ● 第2回 定例会「ポットラックパーティー」 ●



## 公益社団法人 徳島県労働者福祉協議会 主催

日本語能力試験  
N3合格のための対策講座



日本語能力試験  
N2合格のための対策講座



自動車運転免許のための  
「読解力のための日本語講座」



## JTM主催日本語講座

「保護者のための日本語講座」



他にもこんな活動を  
しています。

- 「徳島県国際交流協会日本語教室」担当 毎週日曜日
- 学校からの要請による日本語支援
- 徳島文理大学留学生のための日本語
  - ・日本語能力試験N1対策講座
  - ・夏期日本語・日本語文化研修
- 日産サテリオ徳島「実習生のための日本語講座」
- プライベートレッスン
- 機関紙「あわゆずぶれす」発行
- 会報「スマイル通信」毎月1回発行

# INFORMATION

◆会員数(2019年3月31日現在) 正会員数36名 協力会員数3名  
 ◆入会随時受付中! 正会員...会の活動に参加し、ともに運営を行います。  
 協力会員・団体...会の活動を支援する個人または団体

## 活動紹介

ブラッシュアップのために

- ◇日本語指導勉強会  
\*毎月第2土曜日13:30~15:00  
〈模擬授業と意見交換〉日本語に関心のある方ならどなたでも参加できます。
- ◇日本語指導部研修会  
\*毎月第2または第3土曜日
- ◇ステップアップ講習会  
\*毎月第2または第3土曜日
- ◇定例会 ◇特別研修会



日本語学習をサポートする交流活動

- ◇日本語サロン  
\*毎週月曜日10:30~12:00  
とくしま国際戦略センター(トピア)

にほんご寺子屋

- \*毎週日曜日13:30~15:00  
とくしま国際戦略センター(トピア)

保護者のための日本語講座

- 2018年9月3日~12月7日(全24回)  
\*毎週月・金曜日10:00~11:30

—主催 公益社団法人 徳島県労働者福祉協議会

日本語能力試験N2対策講座

- 2018年9月10日~11月28日(全20回)  
\*毎週月・水曜日9:30~12:30

日本語能力試験N3対策講座

- 2018年10月2日~11月30日(全17回)  
\*毎週火・金曜日9:30~12:30

読解力を高める日本語講座

- 2018年9月6日~12月13日(全14回)  
\*毎週木曜日10:00~12:00

## 日本語レッスン

- ◇プライベートレッスン・グループレッスン  
入門から上級まで、会話や日本語試験対策などニーズにあった学習プランで教えます。
- ◇詳しくは事務局またはレッスン専用メール  
jtmtoke-lesson@mbk.nifty.com まで。

## JTMとくしまのオリジナル教材紹介

Konnichiwa Tokushima

# こんにちは とくしま

2018年12月1日 第4版発行

徳島で日本語を学ぶ人のために

本書は初級学習者向けの教材です。

日本語の基礎文型を学習することができます。

文型に対応した練習問題があります。

イラストがたくさんあり、わかりやすいです。

日本や徳島の暮らしに役立つ情報が得られます。

会話と語彙、表現の英語・中国語・ベトナム語訳があり、自主学习を助けます。



# 子どもと暮らすための こんにちは とくしま

徳島で子どもを育てる人のための日本語教材



- 全12課
- 季節や身近な場面に合わせてどの課からでも学習できます。
- 子育てを通して、まわりの人とうまくコミュニケーションできるようになるための表現が学習できます。
- 学校の通知文の読み方や返事の書き方の練習ができます。
- 生活情報がクイズ形式で学習できます。
- 学校や生活に役立つ情報が得られます。

●ご購入・お問い合わせ JTMとくしま事務局

## ご支援をいただきました

- 徳島県福祉基金より助成金をいただきました。
- 国際ロータリー第2670地区ロータリー財団委員会および徳島中央ロータリークラブより補助金をいただきました。

## あ と が き

今年は、外国人の受け入れに関する法律の一部改正により、特定技能の在留資格で多くの外国人が入国することにより日本語指導や外国人との共生が、今まで以上に重要になってくると思います。気を引き締めて取り組んでいきたいと思ひます。

2018年度の活動をまとめた「あわゆずぶれす」35号ができました。ご覧になって、ご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。

(山満十糸子)

発行/JTMとくしま日本語ネットワーク

発行責任者/兼松 文子

編集責任者/山満十糸子

編集スタッフ/加村 匡子・玉置 房・辻 暁子・長町 順子  
村松 幸子・杜 美智・安山 政子

印刷/徳島県教育印刷株

■JTMとくしま日本語ネットワーク

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1 わーくびあ徳島2階

公益社団法人 徳島県労働者福祉協議会内

TEL 088-625-8387 FAX 088-625-5113

E-mail jtmtoke@nifty.com

URL <http://jtmhp.la.coocan.jp/>

<https://www.facebook.com/jtmtoke/>